

ベトナムで事業を運営するうえでどのような「外部環境リスク」があるのでしょうか。

## 中小企業 海外展開のツボ

ベトナムへ進出した中小企業が、自然災害や政治・経済などの「外部環境リスク」のなかでも、近年、とくに懸念しているリスクについて解説します。

自然災害でもっとも警戒すべきものとしては、台風や洪水が挙げられます。ベトナムは、毎年のように大型の台風に見舞われ、ハノイやホーチミンといった大都市でも洪水が発

生し、事業活動が停止することもあります。

政治・経済の面では、役所における許認可手続きや通関手続きなどが煩雑である点が以前から指摘されてきました。法制度の整備は進められていますが、未成熟な部分が残ることは否定できません。

また、人件費の上昇も、中小企業にとって大きな悩みの一つです。東

## ベトナム、人件費上昇率高く

SOMPOリスクアマネジメント 執行役員 原 敬徳氏  
ERM事業部長 首席コンサルタント

南アジア諸国連合（ASEAN）諸国のなかでもベトナムにおける月額最低賃金の上昇率は比較的高く、ベトナム国家評議会によると、同国の月額最低賃金はこの5年間で約1.5倍も上昇しています。ちなみに2017年は月額375万ドン（約1万8600円）です。

このほか、数年前と比較すると、デモや抗議活動の発生回数が増えて

きたことも懸念材料です。さらに、交通量の増加に伴って、納品の遅延が発生したり、交通事故が頻発したりすることも事業運営上の大きな阻害要因として考えられています。

このように、現地における最新のリスク情報を収集するなかで、すでにベトナムへ進出を果たした中小企業が懸念しているリスクを知ることが有益であるといえるでしょう。

中小企業にとって想定されるベトナムの主な外部環境リスク

### 自然災害リスク

台風、集中豪雨、洪水など

### 政治・経済・社会リスク

許認可の遅延・煩雑さ、法制度の未整備

国際関係に伴う市場の悪化

人件費の上昇、インフレ・金利上昇

社会的デモ・抗議活動、交通渋滞・事故など

2017年6月5日  
日経産業新聞